プレスリリース

2019年12月6日

KYOTO STEAM
－世界文化交流祭－2020

2020年3月初開催！

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－2020の開催について（詳細）

「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」は、「KYOTO CULTIVATES PROJECT」の理念（京都は耕す、育む、磨く）を体現し、京都賞が先駆的に示してきた人類の未来への願いとも共鳴した、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに開催する新しい文化・芸術の祭典です。

京都岡崎を中心に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会前の2020年3月に第1回目となるフェスティバルを開催しますので、詳細をお知らせします。

※STEAMとは・・・Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（芸術）、Mathematics（数学）

KYOTO STEAM －世界文化交流祭－ 実行委員会
（事務局：京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1京都市国際交流会館内
TEL：075-752-2211 FAX：075-752-2233 Email:info@kyoto-steam.org

京都市

平成31年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

平成31年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

公式WEB

@kyoto_steam

kyotosteam_official

1

STEAM THINKING ー未来を創るアート京都からの挑戦
国際アートコンペティション スタートアップ展

概　　要：「アート×サイエンス・テクノロジー」の可能性を切り拓くことを目指して、2020年度より公募で選ばれたアーティストと企業等が共同制作した作品を展覧し、優れた作品を表彰するコンペティションを実施します。
本展は、そのコンペティションに向けて開催するものです。新進気鋭のアーティストから実績を積んだアーティストまで多様なジャンルのアーティスト7人が、独自性の高い技術の開発や先進的な研究を行う企業・研究機関とコラボレーションし制作した作品を展覧します。リニューアルオープンする京都市京セラ美術館で展開するアーティストと企業・研究機関のコラボレーションに、ぜひ御期待ください。

開 催 日 時：2020年3月21日（土）～3月29日（日） ※3月23日（月）は休館日 10時～18時（入館は17時30分まで）
会　　場：京都市京セラ美術館 本館 南回廊2階
出展作家・企業等：市原えつこ（メディア・アーティスト）×デジタルハリウッド大学院
久保ガエタン（美術家）×株式会社コトブキ/株式会社タウンアート
鈴木太朗（メディア・アーティスト）×有限会社フクオカ機業
林勇気（映像作家）×京都大学iPS細胞研究所（CiRA）
森太三（美術家）×太陽工業株式会社
八木良太（メディア・アーティスト）×美濃商事株式会社
大和美緒（美術家）×株式会社島津製作所
参 加 対 象：どなたでも
料　　金：無料
協　　賛：NISSHA株式会社、株式会社島津製作所
助　　成：一般財団法人ニッシャ印刷文化振興財団

参考（出展作家過去作）

市原えつこ＋渡井大己《サーバー神輿》
[仮想通貨奉納祭より]（2019年、撮影：黒羽政士）

久保ガエタン 個展「僕の体が僕の実験室です。
あるいはそれを地球偶然管理局と呼ぶ。」より展覧会風景
（2017年、Courtesy of the artist and Kodama Gallery ）

林勇気《ATOM -i》（2018年、撮影：植松琢磨）

大和美緒《REPETITION RED(dot)15》
（2016年、撮影：麥生田兵吾）

森太三《起伏のテーブル》（2016年、撮影：麥生田兵吾）

八木良太《Sound Sphere》（2011年）

鈴木太朗《Liquidscape》（2014年、制作：Atelier OMOYA）

2 STEAM THINKING ー未来を創るアート京都からの挑戦
アートカルティベートフォーラム「アートとサイエンス、そして私たちの幸福について」

概　　要：サイエンスの発展が恩恵だけを与えるものではないという認識が広がるなか、私たちの未来にとって、望ましいサイエンスとはどのようなものでしょうか。KYOTO STEAMー世界文化交流祭ーでは、この問いに対して、人類が作り出したもうひとつの所産であるアートに答えを求め、プロジェクトを推進しています。
本フォーラムでは、サイエンティストやアーティストの多角的な視点から、サイエンスとアート、そして私たちの未来について考えます。サイエンスとアートを携えた私たちは、どこへと向かうのか。未来に向けた新しい出発点を想像／創造します。

開催日時：2020年3月9日（月）18時～20時45分
会　　場：京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール
内　　容：【第1部】トークセッション
セッション1「対話のフリークライミング」
磯部洋明（宇宙物理学／京都市立芸術大学准教授）
小山田徹（美術作家／京都市立芸術大学教授）
セッション2「サイエンスとともに踊ること」
砂連尾理（振付家・ダンサー／立教大学特任教授）
古屋俊和（データサイエンティスト／
株式会社エクサウィザーズファウンダー）

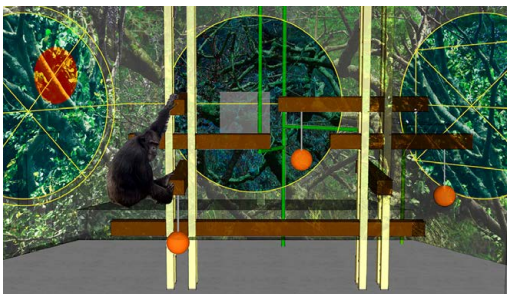
【第2部】対談「アートとサイエンス、そして私たちの幸福について」
赤松玉女（京都市立芸術大学学長）、山極壽一（京都大学総長）

参加対象：どなたでも
料　　金：無料
申　　込：要（申込が多数の場合は先着、一部当日受付あり） 京都いつでもコール TEL：075-661-3755 FAX：075-661-5855
WEB：https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html
「氏名・ふりがな・住所・メールアドレス・電話番号・同伴者の有無（有の場合は人数）」をお知らせください。
申込期間：2020年1月9日（木）～2月21日（金）
定　　員：500人

3 アート×サイエンス IN 京都市動物園
アートで感じる？チンパンジーの気持ち

概　　要：ヒトにとってアートとは何か。本プログラムでは，アーティストとサイエンティストが、ヒトに最も近い動物であるチンパンジーに寄り添い、この根源的な問いに迫ります。
今年度は，現代のテクノロジーを用いて、チンパンジーや来園者の動きによって変化するインタラクティブな映像作品を制作・展示します。作品展示による行動の変化からアートがチンパンジーやヒトに与える影響を検証するとともに、アートを通じて、これまでにないチンパンジーとヒトのコミュニケーションに挑戦します。

開催日時：2020年3月21日（土）～3月29日（日） ※3月23日（月）は休園日 各日 10時～11時・14時～15時
会　　場：京都市動物園 類人猿舎 屋内展示場3
出展作家：人長果月（美術家）
研 究 者：山梨裕美（京都市動物園主席研究員）
狩野文浩（熊本サンクチュアリ・京都大学高等研究院特定准教授）
吉田信明（公益財団法人京都高度技術研究所主任研究員）
一方井祐子（東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構特任研究員）
岩城覚久（近畿大学文芸学部文化デザイン学科准教授）
参加対象：どなたでも
料　　金：無料 ※入園料は別途必要
トークセッション：プロジェクトの舞台裏から実験におけるチンパンジーとヒトの反応まで、本プログラムの作品制作および研究に参画しているアーティストと研究者等がお話します。
日　　時：2020年3月28日（土） 15時30分～17時
会　　場：京都市動物園 レクチャールーム
参加対象：どなたでも
料　　金：無料（ただし、入園料は別途必要）
申　　込：要（申込が多数の場合は先着、一部当日受付あり）
申 込 先：KYOTO STEAMー世界文化交流祭ー実行委員会
電　　話：075-752-2211 MAIL: info@kyoto-steam.org
申込方法：「氏名・ふりがな・電話番号・同伴者の有無
（有の場合は人数）」をお知らせください。
申込期間：1月9日（木）～3月27日（金）
定　　員：80人


京都市動物園類人猿舎屋内展示場への作品展示イメージ

協　　力：京都大学高等研究院，京都大学野生動物研究センター

4 ダムタイプ新作パフォーマンス2020（仮）

概　　要：ダムタイプは、映像、ダンス、音楽、デザイン、コンピューター・プログラムなど異なる背景をもつメンバーによるアーティスト集団です。1984年の結成以来、プロジェクトごとにメンバーや表現方法を変化させながら、集団による共同制作の可能性を模索しつつ、マルチメディアを使ったパフォーマンスやインスタレーションを中心に発表し、国内外で活動しています。今回は、2002年初演『Voyage』以来となる待望の新作を上演します。

開 催 日 時：2020年3月28日（土）開演19時、29日（日）開演15時
※受付開始は開演の60分前、開場は開演の30分前
※演出の都合上、開演後は本来のお席に御案内できない場合があります。

会　　場：ロームシアター京都 サウスホール

料　　金：全席指定 前売・当日共 一般 5,000円、ユース（25歳以下）2,500円
※ユースは入場時に証明書をご提示いただきます。
※車椅子でご来場のお客様は事前にロームシアター京都（075-771-6051）まで御連絡ください。
※未就学児入場不可。
※当日券の販売方法等は決まり次第、公式WEB等でお知らせします。
※3月29日（日）15:00公演のみ託児サービスあり。詳細はロームシアター京都にお問い合わせください。

購 入 方 法：●ロームシアター京都 オンラインチケット
https://www.e-get.jp/kyoto/pt/（要事前登録（無料）、24時間購入可）
●ロームシアター京都 チケットカウンター TEL：075-746-3201
（窓口・電話とも10時～19時、年中無休、臨時休館日を除く）
●京都コンサートホール チケットカウンター TEL：075-711-3231
（窓口・電話とも10時～19時、第1・3月曜日休館、休日の場合は翌日）
●チケットぴあ TEL：0570-02-9999［Pコード：499-172］
http://t.pia.jp/
●e+(イープラス)
https://eplus.jp/

チケット発売：2020年1月18日（土）10:00

お 問 合 せ：ロームシアター京都 電話 075-746-3201

制　　作：ダムタイプ／ロームシアター京都

企 画 製 作：ロームシアター京都

共　　催：公益財団法人セゾン文化財団

主　　催：KYOTO STEAM―世界文化交流祭―実行委員会

『Voyage』（2002年）©Kazuo Fukunaga

5 古典文学×伝統芸能×新技術
新猿楽記～cirque de kyoto～

概　　要：2018年に始動した『新猿楽記』創成プログラムの成果を示すステージプログラムを、伝統芸能の継承者や日仏のパフォーマー、そして様々な技術を有する企業等とのコラボレーションにより展開します。
平安中期に藤原明衡が著した『新猿楽記』に着想を得た、京都独自の文化創成のプロセスを、現代につながる大衆芸能のルーツ『猿楽』の高いエンターテインメント性を軸に表現する新たなパフォーマンス「新猿楽記～cirque de kyoto～」として、制作・上演します。

開 催 日 時：2020年3月29日（日）開場12時15分 開演13時／開場16時15分 開演17時
※受付は開演の45分前
※公演時間90分を予定

会　　場：ロームシアター京都 メインホール

料　　金：全席指定 前売・当日共 一般 1,000円、中学生以下 無料

申　　込：※13時公演は未就学児の方も一緒に御観劇いただけます。
※17時公演は未就学児入場不可。
※中学生以下入場無料の公演ですが、チケットが必要になります。事前にチケットを予約のうえ、御来場ください。
※中学生以下の方は御入場時に年齢を証明できる証明書等を御提示ください。
※3歳以上のお子様はひざ上不可のため、チケットを御用意ください。
※2歳以下のお子様でも座席が必要な場合は、チケットを御用意ください。
※いずれのチケットもコンビニエンスストアでのチケット引取や配送には、手数料がかかります。あらかじめ御了承ください。
※車椅子で御来場の方は、チケット御購入前にKYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会まで御連絡をお願いします。
※当日券の販売方法等は決まり次第、公式WEB等でお知らせします。

購 入 方 法：●ロームシアター京都 オンラインチケット
https://www.e-get.jp/kyoto/pt/（要事前登録（無料）、24時間購入可）
●ロームシアター京都 チケットカウンター TEL：075-746-3201
（窓口・電話とも10時～19時、年中無休, 臨時休館日を除く）
●京都コンサートホール チケットカウンター TEL：075-711-3231
（窓口・電話とも10時～19時、第1・3月曜日休館, 休日の場合は翌日）

チケット発売：2019年12月14日（土）10時

お 問 合 せ：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会

協　　力：井筒グループ、ひだか和紙有限会社、上賀茂やすらい踊り保存会

2019年のワークインプログレスの様子

連携プログラム

KYOTO Shaping the Future

概　　要：京都工芸繊維大学KYOTO Design Labは、ビエンナーレプロジェクトKYOTO Shaping the Futureを立ち上げ、さまざまなコラボレーターと交流しつつ、都市社会のリデザインを提案します。その初回となる2020年は、「食がつくる都市・京都」をテーマとして掲げます。展覧会では、食をめぐる循環構造を歴史的な視点からリサーチし、これを最先端テクノロジーと掛け合わせることで、「食」から派生する新たな未来都市の可能性を描きます。

開　催　日：2020年3月27日（金）～3月29日（日）10時～19時
（27日（金）13:00～）

会　　場：京都市勧業館「みやこめっせ」第3展示場B（3階）

コラボレーター：シャディ・ラーバラン&マニュエル・ヘルツ、
大阪ガス株式会社エネルギー技術研究所、
スイス連邦工科大学チューリッヒ校
クリストフ・ジロー研究室ほか

コンテンツ制作：岡田栄造（京都工芸繊維大学）、水野大二郎（同）、
木下昌大（同）、三宅拓也（同）

会 場 構 成：武井誠（京都工芸繊維大学）、満田衛資（同）

アートディレクション：西村祐一（rimishuna）、綱島卓也（同）

主　　催：京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

共　　催：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会

展示会場イメージ ©京都工芸繊維大学

主　催

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会

評 議 会 議 長　門川大作（京都市長）
評　　議　　員　青木　淳（京都市京セラ美術館館長）
赤松玉女（京都市立芸術大学学長）
長尾　真（(公財）京都市音楽芸術文化振興財団理事長）
プロデューサー　平竹耕三（京都市文化市民局参事）
統括ディレクター　中谷日出（元NHK解説委員／京都大学大学院総合生存学館特任教授）

1_参画団体

京都市/京都市立芸術大学/京都市京セラ美術館/
京都市動物園/（公財）京都市芸術文化協会/
（公財）京都市音楽芸術文化振興財団/
（公財）京都高度技術研究所/京都商工会議所/
京都経済同友会/日本放送協会京都放送局/京都新聞社/
京都岡崎 蔦屋書店

2_スペシャルサポーター

（公財）稲盛財団

3_プラチナパートナー

㈱島津製作所/㈱ソニー・ミュージックエンタテインメント/
NISSHA㈱

4_サポーター

（一財）ニッシャ印刷文化振興財団

5_ゴールドパートナー

近畿日本鉄道㈱/京阪ホールディングス㈱/西日本旅客鉄道㈱/
阪急電鉄㈱

6_パートナー

NTT都市開発㈱/京とうふ藤野㈱/㈱京都銀行/京都信用金庫/
京都中央信用金庫/（公財）京都伝統伎芸振興財団/
㈱グランマーブル/月桂冠㈱/㈱江寿/
（一財）三洋化成社会貢献財団/㈱滋賀銀行/㈱ジュヴァンセル/
㈱進々堂/㈱大丸松坂屋百貨店/㈱髙島屋京都店/宝酒造㈱/
日本たばこ産業㈱/㈱藤井大丸/㈱丸久小山園/㈱山岡白竹堂/
㈱ユーシン精機/㈱リコー/㈱緑寿庵清水

備　考

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－2020については、2020年3月上旬に取材案内をいたします。